

事業名

## 魅力ある農産物栽培実践事業

事業費（予算額）： 509,760 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業： 500,000 円）

**P** ・事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果  
魅力ある農作物の生産により収益化が可能だということモデルケースとして示すことで、より多くの若い世代に農業に関心を持ってもらう。ブドウ栽培技術を次世代の農業者に伝承し、ブドウ栽培者の育成・増員を図り、併せて、耕作放棄地の解消に努める。  
また、生産したブドウの販売による収益は、今福地区まちづくり推進委員会の自己資金とし、まちづくり委員会の活動の幅を広げるための手段とする。

**D** ・事業の概要  
シャインマスカット栽培のモデル的な施設とするため、地区内にある空きハウス（300 m<sup>2</sup>）にブドウ棚を整備した。  
従前からブドウを栽培している方から栽培技術を学びながら地域住民と作業することにより、農業生産意欲の高揚を図り、ブドウ栽培技術の向上に取り組んだ。  
また、取組内容や成果を地区のイベント等で周知するなどし、住民の関心が得られるように取り組んだ。

**C** 課題の解決度合（10段階の自己評価）  
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

		○								
--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--

・上記評価の理由

本事業によりぶどう棚を設置し、ブドウの植栽はできたが、施設の整備完了までは、周辺環境整備（草刈り、溝掘りなど）をする必要があり、また、課題の解決や地域活性化は整備完了後の活動が肝心となるため、道半ばという意味で評価 3 とした。

**A** 事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を 10 に近づけるために）

2 年後には順次収穫可能な状態となるように努め、5 年後の成園確立を目指し、その間にも研修や研鑽に励み、生産技術の向上に努める。

農業に係わる取組は短期間で成果が出るものではないが、より多くの若い世代に農産物生産に関心を持ってもらえるよう働きかけ、将来にわたって持続可能な農業生産体制の構築を目指す。

